

設計要領第三集 改定概要（令和5年7月版）

■改定概要、□記載内容の変更

編	項目	改定概要、記載内容の変更	備考
トンネル 建設編(1) 本土工	-	<ul style="list-style-type: none"> ■用語の統一、文章の修正 ■抑え盛土の適用条件の修正 	
トンネル 建設編(3) 内装工	全体	<ul style="list-style-type: none"> ■建設及び改築の現場向けの内容を保全編から抜粋し新たに制定 	
トンネル 保全編(2) 本土工	全体	<ul style="list-style-type: none"> ■用語の統一、文章の修正 	
	2. 設計計画	<ul style="list-style-type: none"> ■変状原因の推定、建設時の設計・施工が誘因となる場合における考え方について最新の知見を踏まえ修正 ■補修・補強ランクについて最新の点検要領に合わせて修正 	
	3. 補修工の設計	<ul style="list-style-type: none"> ■はく落対策について施工管理要領と整合を図り鋼繊維覆工コンクリート補修工の追加 ■小片はく落対策工について新たな工法の追加 ■設計はく落荷重の算出において単位体積重量の修正及び面積の追記 ■目地部を跨いで施工を行う場合について不具合事象を受けた内容の見直し ■目地部を跨ぐ施工を廃止 ■鋼繊維覆工コンクリート補修工について施工管理要領と整合を図り、鋼繊維覆工コンクリート補修工の追加 ■水抜き工について新たな知見を踏まえ追加・修正 	
	4. 補強工の設計	<ul style="list-style-type: none"> ■補強工の設計について新たな知見を踏まえ追記・修正 ■山岳トンネルの注入材の種類について新たな知見を踏まえ追記・修正 ■ロックボルト補強工について新たな知見を踏まえ追記・修正 ■内巻補強工について新たな知見を踏まえ追記・修正 	

編	項目	改定概要、記載内容の変更	備考
		<ul style="list-style-type: none"> ■鋼繊維補強コンクリートによる内巻補強工の設計について鋼繊維補強コンクリートによる内巻補強工を別項目とした。 ■繊維シート接着工の材料について施工管理要領と整合を図るよう修正 ■路盤下補強工について新たな知見を踏まえ追記・修正 ■インバート補強工について新たな知見を踏まえ追記・修正 	
	5. 監視および変状トンネル調書	■監視および変状トンネル調書について補強効果を確認するため内容を見直した。	
トンネル 保全編(4) 内装工	1. 適用範囲	■内装工の区分を追加	
	2. 用語の定義	■内装工の区分追加に伴い追加	
	3. 内装工の役割	■白色照明が主体となってきたことによる内装工の役割の修正	
	4. 内装工の具備すべき条件	■路面輝度の考え方の追加	
	6. 設置範囲	■内装工の選択肢が増えたことにより、選択方法や更新時の留意事項を追加・修正	
	7. 内装材料および施工法の選定	■新たな内装材料の追加	
	8. 内装工の材料規格	■新たな内装材料の追加	
	9. 視線誘導ラインの材料規格	■新たな内装材料の追加	
	トンネル 保全編(6) 近接施工	1. 総則	■Ⅱ期線トンネルに関する表記を追加
2. 調査・計画		<ul style="list-style-type: none"> ■Ⅱ期線トンネル施工に関連する用語及び検討項目を追記 ■近接施工検討計画において影響外領域についても、影響予測を行う場合があるため、領域を限定しない表現に変更し、既設トンネル覆工の補強のための検討事項を追記。また、離隔確保のための検討事項を追記。 ■既設トンネルの調査について保全点検要領の記載に合わせて修正し、覆工の温度補正のための調査を追記。また、調査範囲の図を修正。 ■覆工の状態の判定について保全点検要領に合わせて修正。 ■近接度の区分についてⅡ期線トンネル事業 	

編	項目	改定概要、記載内容の変更	備考
		<p>と他の近接施工事業を区分するように表記を修正。また、近接度補正の図をより明確になるように修正。</p>	
	3. 影響予測	<p>■解析的手法による影響予測について、影響予測を行う対象を追記。また、参考となる解析による評価手法を追記。</p>	
	4. 対策工	<p>■Ⅱ期線トンネル施工について追記 ■中間地盤の対策、既設トンネルの対策について最新の知見を踏まえて追記</p>	
	5. 安全監視	<p>■覆工の温度測定を追加</p>	